

平成 1 5 年度第 1 0 回法務委員会議事録

日 時 平成 1 6 年 2 月 2 0 日 (金) 1300 ~ 1800
場 所 操縦士協会事務局会議室
出席者 長谷川、田古里、仙波、染谷、佐藤、小山、各委員

記

1. 航空安全委員会との共催による『航空事故調査 基礎編』聴講
講師 国土交通省 航空鉄道事故調査委員会事務局 事故調査官 知場 勝 氏
2. 前回議事録確認
3. 理事会報告
元事務局職員の既払い退職金について他
4. 第39期法務委員会活動報告
前回作成した活動報告書の確認
5. 第40期法務委員会活動計画ならびに予算案の確認
活動計画 1. 操縦士への過失認定に関わる問題点の検討
2. 過去の航空裁判記録の検証（過失認定のあり方を中心に）
3. 事故当事者への側面的支援と情報提供
4. 協会HPへの対応とP誌を通しての広報活動
6. マスコミに向けた航空セミナーの開催について（4月）
「航空事故とパイロットの過失」、「航空安全講習会」をテーマに委員長が前半を講師として参画。事故調査と刑事捜査の関係、報告の聴取と警察の取り調べの違い等を説明し、協会（委員会）の活動はパイロットの保身のためではないと理解を得る事を目的とする。
7. 航空事故に直面した際の側面的支援について
2月28日に委員長が航空事故当事者と会う予定。法務委員会としての対応をまとめた。
簡単に処理するためだけに安易に処分を受け入れない様伝える。
他の事故の事後処理を参考にしてみよう。
8. 名古屋裁判傍聴報告
佐藤委員による706便事故裁判傍聴報告
次回裁判は3月1日、論告求刑予定
9. 過失認定に伴う問題点の検討
今一度、秋田ヘリ事故について事故調査報告書、論告要旨、弁護要旨上申書、裁判判決等の検討を行うための予備知識として過失総論（第9回委員会配付資料）、「航空機事故とパイロットの法的責任について」（池田先生H10年講演）、昨年の池田先生のレクチャー（録音）、乗員の刑事責任（法務委員会作成パンフ）を復習する事を次回までの宿題とする。
宮崎、大分事故の過失認定検証に先がけ、秋田ヘリコプター裁判の判決等を参考に新たに過失認定の問題点を検証する。
10. その他
東邦航空 内田氏を法務委員会に迎えたいので本人の意思を確認する。

次回の法務委員会は安全委員会との共催 3 月 1 9 (金) 開催を予定
垣本事故調査委員ご講演予定

以 上